

星の道標

導入:

場所はルクスラ帝国の北の都市バーレス、冒険者の宿の名前は適当、主はナキュア、年齢不詳ナイトメアの元冒険者、女性。依頼主はラフィー、7歳くらいの少年で、毎晩空からの光と通信しているが、周りに信じてもらえないので証明して欲しいと言う。子供の依頼ではあるが、人情もろいナキュアが子供の両親に話を取り付け、まっとうな依頼にしている。依頼料は前金200G、成功報酬800G、交渉すれば危険手当は300Gまで出る。おそらく山の探索になると言うことで、保存食一週間分は支給される。

情報収集:

ラフィーの家はバーレスにいるルクスラ騎士団の一人で、それなりに裕福。交信するのを見せてもらいたい場合は夜になればラフィーの家の二階から可能、鏡の入った筒でランプの光を遠くまで飛ばせる。筒はラフィーの祖父の形見で、空の上の神様と話が出来魔法の道具だといわれており、ラフィーは信じている。スカウトorレンジャー+知力ボーナスで目標値12の判定に成功すれば、夜空に光るものが見える。ただし、夜空からわずかな明かりを探ることになるため、暗視持ちは逆に判定できない。光が見えれば測量できる、地図作製判定10に成功すればカプティ山岳の一角の山の頂上付近である事が分かる。そのあたりは特に危険な噂はないことはナキュアが教えてくれる。地図作製は100ガメルで街のレンジャーに依頼することも出来る。地図がない場合は山道での判定にペナルティがかかる。

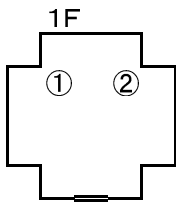
山道: 地図がある場合は目標値9、ない場合は目標値11のレンジャーorスカウト+知力ボーナス判定で方角を間違わずに登れる。行程は真っ直ぐいければ3日、判定に失敗するたびに1日余分に必要。

出目	出現モンスター
3	タイガー(III:P.242)
5,9	オーバーイーター(II:P.258)
7	ゴブリン×3(P.341)、ボガード(P.343)
12	探索11で剣のかけらを発見

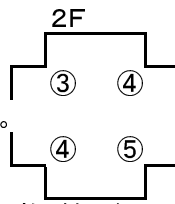
屋1回夜2回のワンダリング判定、2d6で偶数11だと何も出ない、他は表に従う。ただし、危険感知判定で14以上だとモンスターとの遭遇を回避できる。オーバーイーターの擬態以外は不意打ちなし。野営が3交替なら2番目はワンダリング判定なしとする。

蛮族に遭遇した場合は話を聞くことができる、山頂には別の蛮族がいるらしい、この話で方角判定の目標値が1減る。

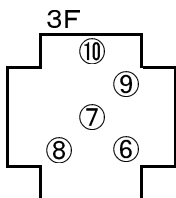
山頂: 10m近い木の生えている林になっているが、そこから頭一つ抜け出す形で塔が建っている。



入口: 鍵がかかっている。解除値10、失敗すると気づかれる。
① 登りはしご、上への扉があり鍵がある。鍵の解除値10、失敗すると気づかれる。
② 罨のはしご、探索値、解除値共に11解除に失敗すると鳴子が降ってくる。



③ 下からの登り口。1ラウンドに一人ずつ登ってこられる。登ったラウンドは精神抵抗以外-2ペナルティ。
④ ゴブリン×2(P.341)気づいていれば階段の側。登ってきた者を乱戦状態にする。
⑤ 幅2メートルの普通の階段。敵が気づいていると、3ラウンド目から上のグレムリンが降りてくる。



⑥ 下からの階段、1ラウンドに二人登れる。特にペナルティはない。
⑦ ボガードトルーパー(II:P.230)+剣のかけら4個
⑧ グレムリン×2(P.340)
⑨ ボガード(P.343)+剣のかけら2個
⑩ 登り階段

⑩の登り階段から塔の屋上に出られる。

屋上ではコボルトが2匹いる、戦闘は恐くて降りられなかったらしく、戦う意思はない。ラフィーのものに似たような大きな筒が専用の台座に備えてあり、これが遠くまで見えるものだと見張りの真似事をしていた。何故か遠くは全然見えないが、見えないと言うと怒られるので適当な報告をしていた。良く見るとレンズの代わりに剣のかけらが入っていて、光を発している。適当に調べているとグリフォン(P.373)が飛んできてかけらを持って行ってしまふ、もし戦って倒せば取り戻せる。

セージ+知力ボーナスで11以上出せば、ラフィーの筒と合わせる物だと分かる。筒はなんとかして外すことも可能、持って帰って組み合わせると、遠くまで見える事が分かる。筒の組み合わせ次第では、空の星まで見えるようになり、いくつかは色まで分かる。